

第60回曹洞宗青少年書道展 応募要項

主 催	曹洞宗
協 賛	大本山永平寺 大本山總持寺
後 援	文部科学省 読売新聞社 日本テレビ よみうりランド ラジオNIKKEI 文化放送 全国青少年教化協議会 駒澤大学 愛知学院大学 東北福祉大学 鶴見大学 駒沢女子大学
募集期間	令和8年4月1日～5月15日（当日消印有効）
課 題	裏面に記載
応募方法	<u>応募は1人1点のみ（半切作品または半紙作品のどちらか1点）</u> <u>作品左下に応募券を必ず糊付けして提出（セロハンテープ不可）</u> 所定の応募用紙（白）と応募者名簿（水色）に必要事項を記入して同封 ※上記以外は同封しないこと ※紛失や損害などが発生しても一切の責任を負いかねます
出 品 料	<u>半紙600円 半切900円（11点以上の一括応募は2割引）</u>
振 込 先	郵便振替口座 00100-4-18202 曹洞宗宗務庁財政部 <u>※出品料の支払いは、原則として同封の払込取扱票を使用してください。</u>
応募締切	<u>令和8年5月15日（当日消印有効）</u>
審 査 会	令和8年6月上旬予定
特 別 賞	551点 他に団体賞あり 表彰状・副賞を授与
記 念 品	出品者全員に贈呈
審査結果	郵送にて通知
発 表	特別賞・団体賞は曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」に掲載
表 彰 式	令和8年7月31日 鶴見大学附属中学校・高等学校 講堂

【応募先】 〒105-8544 東京都港区芝2-5-2
曹洞宗宗務庁 教化部企画研修課内 曹洞宗青少年書道展係
TEL：03-3454-5415（教化部企画研修課直通）

※応募作品の返却は一切いたしません。予めご了承のうえご応募ください。

第60回曹洞宗青少年書道展 課題（テーマ：まごころに生きる）

令和8年4月からの新学年の課題でご応募ください。課題や漢字を間違えると無効となるためご注意ください。

曹洞宗青少年書道展は、お陰様をもちまして第六十回という節目の記念展を迎えます。

今回のテーマ『まごころに生きる』は、シンガーソングライターの南こうせつ氏が作詞作曲した梅花流詠讃歌（曹洞宗でお唱えする御詠歌）に由来します。この曲には、①季節が移り変わるよう、物事は常に変化するということ（無常）、②お互いに手を取り合ってともに生きること（同事）、③他を思う慈しみの心（利他）の三つの仏教の教えが込められています。今を生きていることの尊さやありがたさに気づき、お互いを励まし合い、思いやりの心をもつて丁寧に日々の歩みを進めてゆきたいものです。

本年も、皆さまからのたくさんのご応募をお待ちしております。

対象	課題	よみかた	用紙	書体
幼児	そ	そ	半紙	楷書
小1	てら	てら		
小2	光	ひかり		
小3	歩み	あゆみ		
小4	思いやり	おもいやり		
小5	成道 ※1	じょうどう		
小6	精神	せいしん		
中1	縁起 ※2	えんぎ		
中2	正伝仏法 ※3	しょうでんぶっぽう		
中3	大黒尊天 ※4	だいこくそんてん		
高校生	心願成就 ※5	しんがんじょうじゅ	半切	楷書 又は行書
全学年	安心立命 ※6	あんじんりゅうみょう		
	眼横鼻直 ※7	がんのうびちょく		
	三寶大荒神 ※8	さんぼうだいこうじん		
	まごころ	まごころ		
	今を生きる	いまをいきる		

全学年

全学年

幼児

記入例

(応募券貼付例)

や思
りい

応募券

セロハンテープ不可

応募券は作品の左下に裏側から必ず糊（フリ）で貼ってください。

まごころ

学年

氏名

眼 橫 鼻 直

学年

氏名

そ

なまえ

歩み

小三
氏名

精神

小六
氏名

仏正法伝

中二
氏名

成心就願

高〇
氏名

今を生きる

学年

氏名

三寶大荒神

学年

氏名

※1 お釈迦様が菩提樹の下で坐禅によつて仏陀（悟りを開かれた人）となつたことを指す言葉。
※2 世の中のあらゆるものは、単独で存在しているのではなく、様々なつながり（縁）の中で生起しているということ。
※3 お釈迦様に始まり、師から弟子へと正しく受け継がれてきた仏教の教え。
※4 七福神の一柱。五穀豊穣や福德をもたらすとされる、インド由来の神様。
※5 心の中で立てた願いや目標が成し遂げられること。
※6 修行や教えを学ぶことによって心に迷いがなくなり、他の物事に動じないこと。また、それによつて到達した境地。
※7 眼は横に、鼻は縦にまつすぐにあるということ。転じて、当たり前のことをありのままに受け入れることの大切さを説いた禅語。
※8 厄払い不淨を取り除くとされる火の神様。仏・法・僧の三つの宝を守護する。

曹洞宗青少年書道展は、お陰様をもちまして第六十回という節目の記念展を迎えます。